

豊かな心 健康なからだ 育てよう学校給食で!

にいがた 学校給食だより

contents

新潟県学校給食会 理事長のあいさつ	P2	新潟県学校給食会 令和5年度 事業計画概要	P6
新潟県教育庁保健体育課長のあいさつ	P3	新潟県学校給食会 令和5年度 役員体制のお知らせ	P7
新潟県学校給食フェア2023のご案内	P4	新潟県学校給食会 令和5年度 夏季事業一覧	P7
令和5年度 学校給食用物資 取扱商品案内	P5	新潟県学校給食会 令和5年度 理事会・定時評議員会	P7
にいがたバックン2022	P5	食の豆知識Q&A	P8



新任のごあいさつ

公益財団法人 新潟県学校給食会 理事長 玉木 正己



この6月に開催された当会の理事会で、理事長に就任することになりました。「笑顔溢れる給食を、新潟県学校給食事業の発展、食育の進展に寄与する」という本会の役割を果たすよう、誠心誠意努力して参る所存でございます。よろしくお願い申し上げます。

今年度当初より、学校における感染対策が変更になり、学校現場ではマスクの着用が原則不要となり、給食の際も適切な対策を行えば「黙食」は必要ないとなるなど、日常が戻りつつあります。報道等で級友と楽しそうに給食を食べている子どもたちの姿を見ると、給食業務に携わっている者として、大変嬉しくなるところであります。

山形県酒田市の(写真家)土門拳記念館を訪れた際に、胸が締め付けられる数枚の写真がありました。『筑豊の子供たち』の中の作品で、本を覗くように見ている子どもの横で弁当を食べている子どもが写っているものでした。解説には、次のことが書かれていました。「(前略)問題児たちは雨が降ると学校を休む。特に給食の必要が感じられる栄養失調気味のこどもが弁当を持ってこないのだ。弁当を持ってこない子は絵本を見ている。弁当を持っているこどもたちが何かのひょうしでどっと笑っても、弁当を持ってこない子は絶対にそちらをむかない。その子たちには、何も関係がないように振りむかないのだった。」

幸い、今このような景色はありません。しかしコロナで、学校へ登校すれば、バランスのとれた美味しい給食が食べられる当たり前が、その日の昼食をどうしようという悩む日々になり、貧困家庭においては、お昼を欠食しなければならない状況であったとも報道されました。コロナ禍の3年間で、学校給食の必要性、重要性が再認識されました。教育関係者からの「給食をとめるな!」は、給食に関わる人間にとって勇気づけられるありがたい言葉でした。今後

「次代を担う子どもたちの健やかな成長」にかかわる役割の一端を担う組織として、使命感と誇りを持って業務に取り組んでまいります。

さて、当会は平成29年に、県内における災害発生時の食料確保体制の充実に向けて、新潟県と「災害時における物資供給に関する協定」を締結いたしました。昨年度は、佐渡市調理講習会において、防災食アドバイザーとして活躍されている管理栄養士の今泉マユ子様から『防災食を学ぼう～学校給食における災害時の備え～』を講演していただき、収録したDVDを新潟県教育委員会をはじめ、県内30の全市町村教育委員会に配付いたしました。また、「にいがたパッケン2022」の制作では、県内小中学校栄養教諭の皆様から『給食時の放送で流したいおはなし』を作成していただき、食育の推進のための取組を行いました。当会の事業方針は、県内すべての学校、幼稚園及び保育所等の社会福祉施設を対象に給食用物資の「安全・安心」、「安定供給」及び「普及充実・食育の推進」を目的とした事業を実施することではありますが、社会のニーズにあわせ、当会の理念である「社会のために」を念頭におき、果たすべき役割についても担っていきます。

最後に、令和5年度の事業計画概要はP6に掲載されているとおりです。コロナで中止をしていました夏季における当会の事業(P7参照)も、今年はすべて実施する予定です。

「安全・安心」「安定供給」をキーワードに、新潟県学校給食会は、「豊かな心、健康なからだ、育てよう学校給食で!」のスローガンのもと謙虚さと誠実さを持って、皆様方から愛され、求められる学校給食会を目指してまいります。

学校における食育の推進について

新潟県教育庁保健体育課長 稲川 俊啓



新潟県学校給食会をはじめ学校給食関係者の皆様におかれましては、児童生徒の心身の健全な発達のため、安全・安心かつ安定的な学校給食用物資の提供及び食育の推進に御尽力いただき厚く御礼申し上げます。

近年、子供たちを取り巻く社会環境は大きく変化し、食生活の乱れやアレルギー疾患等、「食」に関する多くの課題が生じており、さらに新型コロナウイルス感染症の影響による生活習慣の変化等により、子供たちの健康上の課題の多様化が危惧されております。

学校給食は、児童生徒が食に関する正しい知識を身につけ、将来にわたって健全な食生活を実践するための基礎を培う食育の場として、重要な役割を担っています。

学校における食育の推進体制を確立し、学校、家庭、地域、関係機関が連携して、望ましい食習慣の形成に努める必要があります。

県教育委員会では、本年3月に新潟県教育振興基本計画を改訂しました。基本方針の一つである「一人一人の個性や能力を伸ばす教育の推進」に向け、健康でたくましい心身をはぐくむ教育の充実のため、栄養教諭の研修による資質向上、学校全体で食育を推進する意識の醸成など、食育の推進を図る様々な施策を進めてまいります。

また県では、昨年12月に「新潟県教育の日に関する条例」を制定し、県民一人一人が教育の重要性を認識し、教育のあり方を考える契機として、11月1日を「新潟県教育の日」、11月を「新潟県教育月間」に

定めました。これに合わせ、保健体育課では、児童生徒、教職員、保護者だけでなく、県民の学校給食へ

の興味関心を高め、米飯給食及び地場産物活用の推進を図る機会とするため、令和5年11月を米飯給食、地場産給食推進月間として、県内全域の学校給食実施校で、県産米を主食とし地場産物を活用した「キラッと新潟米☆地場もん献立」の日を展開してまいります。

貴会におかれましても、引き続き学校給食用物資の適正な供給を通して、学校における食育の支援に係る事業の実施をお願いいたします。

安全・安心な学校給食の提供、食物アレルギーや異物混入等の事故の未然防止には、学校給食関係者一人ひとりが正しい知識を持ち、組織全体で取り組み、関係者間で情報を共有し連携して対応することが重要であると考えております。

終わりに、今後も皆様と一層の連携を図り、学校における食育の推進と学校給食の充実に取り組んでまいりますので、皆様の更なる御協力をお願いいたします。



豊かな心 健康なからだ 育てよう学校給食で!

新潟県 学校給食フェア2023 のご案内

新潟県学校給食フェアは、当給食会取扱商品の紹介を通して、
学校給食関係者に学校給食用の商品に対する理解を深めていただき、
一層の活用を促進するために開催するものです。

日時

2023 8/9(水) 10:00～16:00

会場

新潟市産業振興センター
新潟市中央区鐘木185-10 TEL.025-283-1100

展示内容

安全・安心・安定供給

- 給食向けメーカー約100社による
展示説明および試食
- 緊急時・災害時に備えたい商品の展示
- 地産地消商品の展示
- 学校給食用パン・麺(県産小麦粉配合)の
紹介、試食等



新潟県学校給食フェア2019
会場の様子



新潟県学校給食フェア2019
会場の様子

普及充実・食育推進

- 新潟県学校給食会ホームページの紹介
- にいがたバックン2019、2022の紹介
- 貸出教材・器材の展示
- スチコンで焼ける揚げ物等の紹介



新潟県学校給食フェア2019
会場の様子



新潟県学校給食フェア2019
食育講演会の様子

食育上映会

食育上映会は、普及充実事業の一環として令和4年度 佐渡市学校給食調理講習会で実施した株式会社オフィスRM 代表取締役 今泉マユ子様の講習を上映いたします。

会場

新潟市産業振興センター 1F展示ホール

上映時間

1回目 10:30～12:00

2回目 12:30～14:00

3回目 14:20～15:50

演題

- 「防災食を学ぼう
～学校給食における災害時の備え～」
- 「普段も災害時も役立つ お湯ポチャレシピ®」



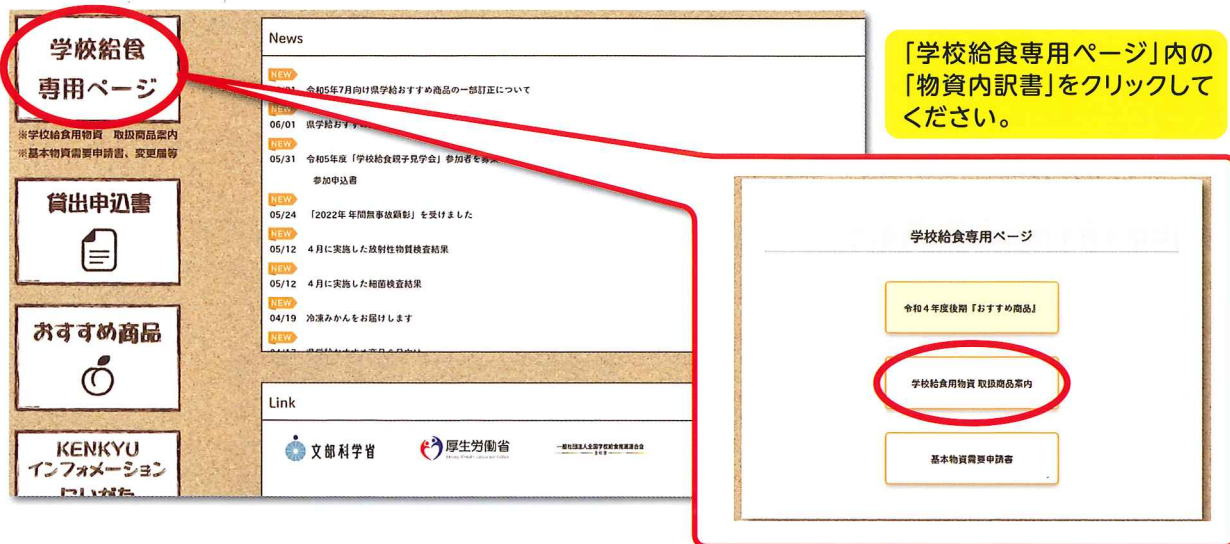
株式会社オフィスRM
代表取締役
今泉 マユ子 様



令和5年度 学校給食用物資 取扱商品案内

令和5年度学校給食用物資取扱商品案内の冊子について、皆様のお手元にお届けさせていただきました。昨年引き続き、冊子には商品名、銘柄、参考価格、商品特徴を掲載いたしました。栄養成分、配合組成、アレルゲン表示等については、当会ホームページよりの「学校給食専用ページ」内の「物資内訳書」よりご確認ください。

当会ホームページの「学校給食専用ページ」をクリックし、ユーザー名、パスワードを入力



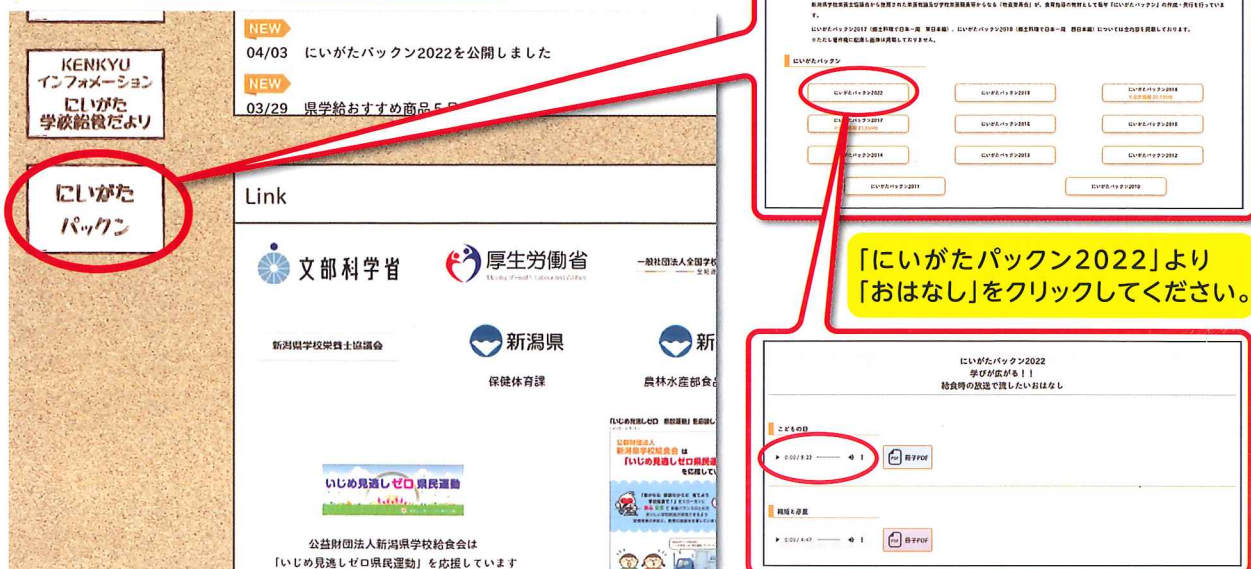
にいがたパッケン2022

今回は、児童・生徒に学校給食を楽しみつつも食への理解を深めて欲しいとの思いから、2022年物資委員会の活動で、地域に伝わる行事食や季節の祭事、新潟県内の郷土食などをテーマにしたお話を制作しました。

食育の授業で教材として活用して頂くため、プロが朗読した各話の音声を担当ホームページにて公開し、各話のあらすじや関連する給食献立を紹介しております。ぜひ、ご活用ください。



当会ホームページの「にいがたパッケン」



公益財団法人 新潟県学校給食会

令和5年度 事業計画概要

1 事業方針

新潟県教育委員会をはじめ学校給食関係諸機関との緊密な連携を図りながら、次代を担う児童生徒の健全な発達に寄与するため、新潟県内すべての学校、幼稚園及び保育所等の社会福祉施設を対象に給食用物資の「安全・安心」、「安定供給」及び「普及充実・食育の推進」を目的とした事業を実施する。コロナ禍の中、各事業が適正に実施できるよう努める。

2 事業期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

3 主たる事業概要

(1) 学校給食の安全・安心を推進する事業

- ① 検査等の実施
- ② 基本物資(米飯・パン・麺)の委託加工工場への立入調査
- ③ 衛生管理講習会の実施
- ④ 衛生管理対策への対応
- ⑤ 供給物資の安全性の確保

(2) 学校給食用物資の安定供給に関する事業

- ① 基本物資(米・パン・麺等)の安定供給
- ② 一般物資の安定供給

(3) 学校給食の普及充実・食育を推進する事業

- ① 情報の提供
 - ア ホームページ
 - イ にいがたパッケン
 - ウ にいがた学校給食だより
 - エ KENKYUインフォメーション
 - オ おすすめ商品
- ② 講習会等の開催
 - ア 新潟県学校給食会 料理講習会
 - イ 学校給食親子見学会
 - ウ 新潟県学校給食フェア2023 食育講演会
 - エ 米粉パン品質審査会・米粉めん品質評価会議
 - エ 米粉パンの技術講習会
- ③ 研修会等助成事業
- ④ 給食・食育衛生管理関連機材等の貸与事業
- ⑤ 県内農林水産物を活用した食品開発
 - ア 学校給食用食品の開発や地産地消食材の供給。
 - イ 地産地消食品及び食育関連食品を開発する。
- ⑥ 米粉製品の利用に係る経費補助及び助成事業

(4) 学校給食設置者を支援する事業

- ① 安心安全な発注業務を支援する。
- ② 新潟県学校給食フェア2023を開催。
- ③ 牛乳代金の回収・支払い業務を代行。
- ④ デジタル化への取組みを強化。

4 役員、評議員及び事務局職員

- (1) 役員 理事 9名(理事長、常務理事を含む)
監事 2名
会計監査人 1名
- (2) 評議員 14名
- (3) 事務局職員 33名(本部23名、上越支所6名、中越支所4名)

● 令和5年度 収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度 (5年度)	前年度 (4年度)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1	1	0
② 特定資産運用益	289	189	100
③ 事業収益	2,352,317	2,302,439	49,878
④ 受取補助金等	7,460	7,510	△ 50
⑤ 雑収益	40	40	0
経常収益計	2,360,107	2,310,179	49,928
(2) 経常費用			
① 事業費	2,340,153	2,290,444	49,709
物資販売事業費	2,083,778	2,050,860	32,918
米穀品質保持事業費	900	1,900	△ 1,000
普及充実事業費	5,049	5,449	△ 400
委託加工工場支援事業費	1,060	1,060	0
人件費	193,318	178,678	14,640
減価償却費	12,859	13,860	△ 1,001
旅費交通費	350	350	0
会議費	440	308	132
事務費	38,725	34,305	4,420
租税公課	3,075	3,075	0
保険料	599	599	0
② 管理費	13,954	13,735	219
人件費	4,692	4,382	310
減価償却費	3,841	4,140	△ 299
旅費交通費	150	150	0
会議費	60	42	18
諸謝金	3,900	3,750	150
事務費	1,285	1,245	40
租税公課	25	25	0
保険料	1	1	0
経常費用計	2,354,107	2,304,179	49,928

公益財団法人 新潟県学校給食会 令和5年度 役員体制のお知らせ

理事 [9名]		評議員 [14名]	
理事長	玉木 正己	評議員会長	早川 義裕 (上越市教育委員会教育長)
常務理事	丹 淳司		近藤 喜祐 (柏崎市教育委員会教育長)
	種村 公夫 (湯沢町教育委員会教育長)		遠藤 友春 (村上市教育委員会教育長)
	中澤 毅 (胎内市教育委員会教育長)		山崎 和美 (新潟県消費者協会会長)
	山田 浩之 (新潟市立新潟小学校長)		太田 優子 (新潟県立大学准教授)
	五十嵐 守男 (上越市立城西中学校長)		大矢 晃子 (新潟市立西幼稚園長)
	井上 雅夫 (五泉市教育委員会学校教育課長)		西本 直史 (長岡市立脇野町小学校長)
	折居 千恵子 (公益財団法人新潟県栄養士会会長)		鷺津 秀幸 (新潟市立巻西中学校長)
	長谷川 英一 (新発田市農林水産課長)		志田 哲也 (新潟県立長岡明徳高等学校長)
監事 [2名]			宮田 青美 (元教育庁保健体育課主任)
	曾根 有佳里 (元新潟県教育庁保健体育課指導主事)		久保 尚子 (新潟県学校栄養士協議会会長)
	山田 耕世 (新発田市立藤塚小学校長)		櫻井 孝明 (南魚沼市塩沢学校給食センター長)
会計監査人 [1名]			湯田 渉 (新潟県農林水産部食品・流通課長)
	山岸 賢太郎 (山岸公認会計士事務所長)		矢島 則幸 (出雲崎町産業観光課長)

公益財団法人 新潟県学校給食会 令和5年度 夏季事業一覧

令和5年度、予定されている夏季事業につきまして下記のとおりお知らせいたします。

期 日	行 事 名	会 場	対 象 者	備 考
7月27日(木)	佐渡市調理講習会	畑野母子健康センター	●栄養教諭 ●学校栄養職員 ●調理従事者	
8月1日(火)	学校給食親子見学会	当会 (有)ヤスダヨーグルト (株)堀川	●新潟県内の 小学4～6年生と その保護者	
8月2日(水)	学校給食料理講習会	食育花育センター	●栄養教諭 ●学校栄養職員	
8月9日(水)	学校給食フェア2023	新潟市産業振興センター	●県内学校給食 関係者	
8月9日(水)	食育上映会 株式会社オフィスRM 今泉マユ子様 演題 ●「防災食を学ぼう ～学校給食における災害時の備え～」 ●「普段も災害時も役立つ お湯ポチャレシビ®」	新潟市産業振興センター	●県内学校給食 関係者	DVDの 上映

公益財団法人 新潟県学校給食会 令和5年度 理事会・定時評議員会

令和5年度 公益財団法人 新潟県学校給食会 理事会を5月31日(水)、定時評議員会を6月21日(水)に新潟県学校給食会にて開催し「令和4年度事業報告及び決算」等についての審議がおこなわれ、すべての議案について承認可決されました。



理事会



定時評議員会

食の豆知識



A Frequently Asked Question on How to Eat Healthy

Q

食物アレルギーに関する最近の知見について、確認させてください。

A

A1(食品表示制度) 2023年3月、消費者庁はアレルギーを引き起こすおそれのある食品の表示について、「くるみ」を新たに**義務表示**に加えて食品表示基準を改正し、都道府県に通知しました。その結果、義務表示は**8品目**となりました。2024年度末までは移行のための経過措置期間で、4月以降に違反した場合は行政措置や罰則の対象となります。2021年度に消費者庁が公表した「**即時型食物アレルギーによる健康被害に関する全国実態調査**」の6080症例のなかで「くるみ」に関する報告は**463件**、**全体の7.6%**と、3年前の**前回調査から増加**し、症例数の多い品目として**鶏卵、牛乳、小麦に次いで4番目に多く**、「くるみ」消費量増加の関与の可能性も指摘されています。新潟県では「くるみ」を用いた**郷土料理**も多いことから、さらに**食品表示に関する指導や注意喚起**も必要となるでしょう。なお、**次の改正**に向けて、2023年6月に第5回食物アレルギー表示に関するアドバイザー会議が開催され、**推奨表示20品目から「まつたけ」を削除し、「カシューナッツ」の義務表示への追加を検討**することになり、**推奨表示の追加候補に「マカダミアナッツ」**が挙げられています。

A2(指導の基本) 『食物アレルギーの栄養食事指導の手引き2022』では、「食物アレルギー患者に対する栄養食事指導の役割は大きく、不可欠である」として、「食物アレルギー患者は**正しい診断にもとづいた必要最小限の食物除去**を行いながら、**適切な栄養素の確保**〈生活の質(QOL)を維持すること〉が求められる。それはつまり『**健康的で**』『**安心できる**』『**楽しい**』食生活が送れることであり、**栄養士はその支援・指導に関わることが期待されている**」と記されています。また『食物アレルギー診療ガイドライン2021』でも、「アレルギー疾患を有する児が学校・幼稚園、保育所などにおいて**何らかの配慮を希望する場合は**、『**生活管理指導表**』を提出し、『**保護者と連携し適切に対処**するため、それ(生活管理指導表)をもとに**面談**を行い、施設長を委員長とした**アレルギー対応委員会**を設立し、**組織として対応**する」ことが求められています。さらに『新潟県 学校における食物アレルギー対応指針』では、**全ての児童生徒に対して「発達の段階に応じて関連する教科や特別活動の場を捉えて、食物アレルギーについての理解を深める指導を進めることが大切**」と示されています。児童生徒の食物アレルギー事故を未然に防ぐためにも、栄養教諭・学校栄養職員には、食の専門家として組織の一員として、様々な場面での活躍が期待されています。

- ・『アレルギー表示について』
https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_sanitation/allergy/assets/food_labeling_cms204_230309_01.pdf
- ・『第5回 食物アレルギー表示に関するアドバイザー会議(2023年6月14日)』
https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_005/033598.html
- ・『食物アレルギーの栄養食事指導の手引き2022』
<https://www.foodallergy.jp/wp-content/themes/foodallergy/pdf/nutritionalmanual2022.pdf>
- ・『食物アレルギー診療ガイドライン2021』 <https://www.jspaci.jp/guide2021/index.html>
- ・『新潟県 学校における食物アレルギー対応指針(令和2年9月現在)』
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/hokentaiiku/hokentaiikuka-allergies.html>
- ・『食物アレルギーに関する指導の充実 指導資料(改訂版)』
<https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1401691855004/simple/5-1-3-1.pdf>

〔新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科〕